

平成 22 年 5 月 14 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

株式会社 QLife

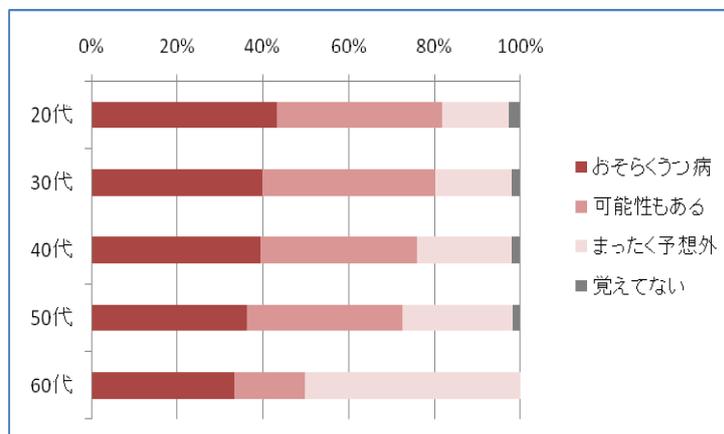
---

8 割が「うつ病」と疑って受診するが、診断後でも半数近くが「本当に病気か」などと疑問続く  
「回復理由」は様々だが、「未回復理由」は 7 割が自分のせいと考え、医療のせいは少数派  
～うつ病患者 1000 名に聞いた「医者と薬をどう見るか」～

---

日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、うつ病患者が「医療機関での治療」をどう捉えているか、について調査を実施した。うつ病患者 1000 名(回復群 500 名、未回復群 500 名)を対象にアンケートを行った。

それによると、一般的に精神科受診は他科受診に比べ抵抗感が強いといわれるが、実際には半数近い患者が精神科受診に全くためらいを感じず、強いためらった患者は 2 割強であった。男性、中高年層の方が抵抗感はない。また、精神疾患は自己診断が難しいといわれるが、実際には、患者の 8 割近くが、受診前から自分がうつ病という可能性を疑っていた。



その一方で、「うつ病」と診断された後でも「本当に病気か」などと疑問に思ったことのある人が半数近くにのぼる。この数字は前述の結論と矛盾するようだが、「単なる心の悩みではなく、病気だ」と医師に診断された後でも、完全には納得できずに不安を持ち続ける患者が多い様子が伺える。なお、6 割弱の患者が薬物療法に疑問を感じる。一番多い疑問は「薬の内容や量が不適切ではないか」であり、疑問を感じた人の 5 割を占めた。全体的に、女性、若年層の方が、診断や薬物療法に疑問を持ちやすい。

うつ病から回復した元患者群が考える「改善のきっかけ」は様々であった。「時間と共になんとなく」「休養で」「薬が効いた」がそれぞれ 4 割程度。一方で「悩みの見直し」や「家族や友人との会話」、「主治医や医療者との会話」といった心理学的なきっかけを挙げる人もそれぞれ 3 割程度存在する。「その他のきっかけ」を挙げた人の半数近く(=未回復群全体の 1 割強)が、うつ病回復のきっかけとして「退職」、「転職」、「結婚」など大きな環境変化で回復していた。うつ病の治療においては「会社を辞めるなど重要な決断をしてはいけない」と強調されるが、実際には退職や転職がうつ病回復のきっかけになったと捉えている患者が少なくないことがわかった。

逆に、うつ病未回復群が考える「回復しない要因」としては、「自分の考え方や性格のため」が 7 割強と一番多く、「抱えている問題が深刻なため」が 5 割強と続いた。心理学的な要因を挙げるものが多い。「薬の効果が不十分」や「治療内容が問題」を理由として挙げるものはそれぞれ 1 割程度と、回復しない原因を医療に帰す患者は少数派だった。

ちなみに、うつ病患者は、平均 3.2 個のストレス要素が原因で発症していた。原因が一つだけの人は 14%に過ぎなかった。

詳細は・・・

▼以下の記事をご参照いただくか、

[http://www.qlife.jp/square/feature/depression\\_hospital/story12084.html](http://www.qlife.jp/square/feature/depression_hospital/story12084.html)

▼以下の詳細レポートをダウンロードしてください。

[http://www.qlife.co.jp/news/100514qlife\\_research.pdf](http://www.qlife.co.jp/news/100514qlife_research.pdf)

---

#### <株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006 年(平成 18 年)11 月 17 日

事業内容:健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念:生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念:感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

---

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)

---